

身近な地域おこし協力隊の皆さんを紹介します

2009年度から始まった地方の活性化や定住を目的とした「地域おこし協力隊」。地域での生活や地域社会貢献に意欲のある都市住民のニーズと、人口減少や高齢化などの進行が進む地方のニーズをマッチングさせた総務省が取り入れた制度。地域外からやってきたからこそ気付き魅力や、実際にどのような活動をして地域に関わっているのか、お話を伺ってきました。

基山町



ジュニアスポーツ教室。運動のきっかけづくりになる「バルシューレ」を指導する。



Profile 平田 瑞杏さん
大阪府出身。地元の大学在学中に、子どもたちの舞台活動を通して基山との交流を持つ。それをきっかけに、卒業後、基山の地域おこし協力隊に。



健康増進のための有酸素運動「スロージョギング」教室の風景。年齢問わず挑戦できる。

あたたかい基山町で、誇りに思える町づくり。

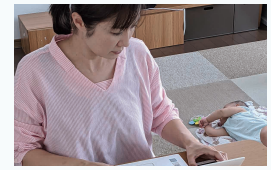
- Q** どんな活動をされていますか？
文化・スポーツ振興を担当しています。スポーツ活動の活発な基山町で、体育大会やロードレースの手伝い、有資格者としてスロージョギング®の指導などをさまざまなことを行っています。成人式では、成人式実行委員会を立ち上げ、同世代の人と活動しました。
- Q** この町の魅力や好きなどを教えてください
「牛乳がなくなったからお隣さんに…」といった昔ながらの人のつながりがとても温かいです。それに、みなさんご飯を囲む機会がとても多く、地元ではなかったこと。だから、私も何かたくさんもらったら誰かと分け合いたいという思考回路になり、とても幸せなことだと感じています。
- Q** これからやっていきたいこと
基山町の人は、何かやりたいことがあると、私の言葉を自分の言葉として受け止めてくれ、やりたいことを後押ししてくれました。この経験を生かし成人式実行委員会の活動をはじめ「ワクワクすることをやるう！」ということを若い世代や同世代に伝えていきたいです。「一生懸命はかっこいい！」をテーマに行っている舞台活動も維持・継承、活性化させていきたいです。

子育てしながら、みんなが笑顔になれる仕事を。

- Q** どんな活動をされていますか？
特産物の販売促進を目指し、活動しています。まず、みやき町の事業者や農家さんのことをよく知ろうと活動を続けています。その中で、みやき町には、道の駅のような場所がないということを知り「みやきマルシェ」を開催。約25の事業者さんに出品していただき、町内の方が顔を合わせて笑顔で集まれる場所となりました。
- Q** この町の魅力や好きなどを教えてください
子育てがしやすいところです。0歳児の子を連れて仕事ができるのもみやき町だからだと思います。こども園では泥んこになって遊ぶことができ、昔ながらのお裾分けの文化や人の温かさなど、子どもたちにも良い影響だと感じます。また、夕日や星がとてもきれいで、子どもたちと眺めています。
- Q** これからやっていきたいこと
みんなが笑顔になることが実感できた「みやきマルシェ」は今年度中にまた実施したいです。これからもみやき町に根付き、任期後は起業したいと考えています。ママ向けのイベントや、市場に出回らない隠し野菜の活用など、自分に何ができるかを考えているところです。



Profile 伊藤 恵梨子さん
北九州市出身。福岡市から3人の子どもたちをのびのび育てたいと移住。現在、子育てと両立しながら、協力隊として活動中。



上の2人を園に送ったあと、子どもの横で事務作業。「子育てがしやすい町で、仕事と両立できるか」と伊藤さん。

健康長寿&前向きな町で役に立つ仕事をしたい。

- Q** どんな活動をされていますか？
特産物の販売促進と地域の活性化のため活動しています。同じ協力隊の伊藤さんとマルシェイベントの企画・運営や、SNSでの情報発信を行っています。また、高齢者スマホ教室や福祉施設に訪問して、ネイルやハンドケアを行っており、高齢者の方々とコミュニケーションを図るなどの活動をしています。
- Q** この町の魅力や好きなどを教えてください
人があたたかいことです。外からやってきた私たちに馴染めるように声をかけて下さるので、自然とつながりができました。また、新しいことにも挑戦する前向きな町だなと思います。
- Q** これからやっていきたいこと
福祉施設訪問の経験からハンドケアはコミュニケーションの場づくりになることを実感しました。「健康長寿のまちづくり」のみやき町で、幅広い世代が通える地域密着型のサロンを開業したいです。また、コミュニケーションに重きを置いたハンドケアを行う福祉ネイリスト育成スクールも構想しています。訪問型ネイルとして、単身世帯高齢者への定期訪問、見守りサービスなどにも広がると考えています。



Profile 平井 理沙さん
鹿児島県出身。町の子育て支援や健康長寿の取り組みに惹かれ、福岡市から移住。子育てをしながら地域おこし協力隊として活動している。



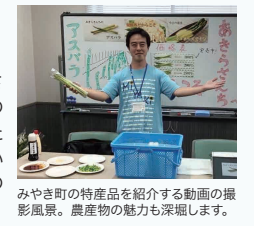
地元野菜を紹介したテレビ取材の際の写真。また特産品イベントの開催を目指している。

みやき町の魅力を、全国に伝えます。

- Q** どんな活動をされていますか？
みやき町の特産品販売の支援を行っています。7月7日に再開したみやき町のふるさと納税など販売促進活動も私の仕事です。ふるさと納税専門サイトには現在約500件アップしていますが、その実務的な作業を全て担っています。また、商品のPR動画を作るため実際に取材し、撮影・編集なども行っています。また、町をあげて行っている「みやき仮想商店街」のサイト構築をはじめ、大手通販サイトへの出品などをまとめて担当しています。
- Q** この町の魅力や好きなどを教えてください
この町に来た際、移動手段は徒歩か自転車でした。その時、会う人ほぼ全員が挨拶をしてくれました。とても驚きましたし、それがこの町のいいところだと思います。
- Q** これからやっていきたいこと
これまでたくさんPRしてきた、みやき町のさまざまな魅力ある商品。これからはたくさんの人に届くように営業支援をずっと続けていきたいと思っています。また、町内で電力会社も立ち上げたいと思っています。みやき町に腰を下ろし、町の活性化に貢献していけたらと思います。



Profile 梶村 一弘さん
愛知県出身。大阪で仕事をしている際に、仕事の関係でみやき町を訪れる。足を運ぶうちに町長に声をかけられ、みやき町の協力隊に。



みやき町の特産品を紹介する動画の撮影風景。農産物の魅力も深堀します。

今ある自然と、美しい景色を守っていく。

- Q** どんな活動をされていますか？
これまでの経験を活かし、みやき町の美しい景観を守るために活動しています。自然を守る会や町の企画調整課の方に勉強会を開いたり、一緒にセミナーに参加したりしています。その他、景観計画の策定に向けた原案の作成や、検討会を重ね、今年「みやき町景観計画」を完成させました。また東京農業大学の学生と共に、景観を楽しむ歩行者専用の道「フットパスコース」の策定マップも完成させました。
- Q** この町の魅力や好きなどを教えてください
私にとって、みやき町は心に残る原風景です。ふるさとであり、林や山の中で過ごした幼少期は宝物です。この町の自然や景観そのものが、魅力だと思います。
- Q** これからやっていきたいこと
みやき町の美しい景観を守るための条例の制定を目指します。また、後継者など様々な問題を抱える農業支援や、現場で景観管理に携わってきた組織の運営サポートなど、総合的な観点から景観を守るマネジメントが必要だと気付きました。なので、運営組織を立ち上げ、活動を強化していきたいと考えています。



Profile 麻生 恵さん
みやき町出身。東京農業大学造園学科教授。教授時代にみやき町と大学で連携協定を結び、定年後、故郷に貢献したいと地域おこし協力隊に。



「景観まちづくりワークショップ」でマップを広く、地域の方と意見を交わす麻生さん。

「佐賀錦」を守り、手仕事の良さを伝える。

- Q** どんな活動をされていますか？
伝統工芸品である佐賀錦の先生に5年ほど師事し、制作やワークショップなどを行っています。現在は、来春に開催される祭典で展示されるお雛様や、工芸展に出品する作品を制作中です。ワークショップでは気軽に楽しんでもらえる、オリジナルのダンボール製織機を使った平織りのコースターづくりを少人数制で行っています。2時間ほどでダンボール製織機も持ち帰ることができるのでおすすめです。
- Q** この町の魅力や好きなどを教えてください
よく散歩に行くのですが、いくつかお気に入りのコースや公園があります。季節ごとに桜や、散歩中に交わす挨拶や、ちょっとした会話もあたたかいです。近所の喫茶店に寄るのも楽しみです。この町のゆったりとした穏やかな時間を、愛おしく感じています。
- Q** これからやっていきたいこと
今後も、佐賀錦を軸とした、手仕事の良さが伝えられるような仕事をしたいです。起業を希望しているので、現在は、起業の方に話を聞いたり、起業支援相談を行っている所で相談したり、起業に向けての準備も進めています。



Profile 中野 あずささん
佐賀県出身。他県に出た後、佐賀県に住むことを考えていたところ、内容もやりたいことも一致したみやき町の地域おこし協力隊に。



ワークショップの風景。オリジナルのダンボール製織機で織り方を教える中野さん。



基山に来て間もない関野さん。現在は行舎内のデスクでさまざまな業務を行っている。



Profile 関野 誠さん
2020年9月1日に着任したばかり。東京生まれ、神奈川県育ち。東京や札幌や函館などでの仕事経験を経て、基山の地域おこし協力隊に。



イベントの手伝いなどさまざまな経験をしながら、基山町の魅力を発信します！

隠れた魅力を発見し、発信していきます！

- Q** どんな活動をされていますか？
産業振興課で、観光振興を担当します。基山の隠れた財産を発掘し、発信していきたいです。例えば、きやま鹿毛医院内にある「PICFA」。東京・銀座で展覧会を行ったり、福岡市内の大型商業施設のオブジェ制作したり、全国的に評価されています。地域の人にとっては当たり前でも、周りから見たらスゴイ！というような、あまり知られていない魅力を広めていきたいです。
- Q** この町の魅力や好きなどを教えてください
実際に住んでみると、車がなくても徒歩圏内にスーパーがあり、ショッピングモールではさまざまなものが手に入ります。空港や福岡都市部へもアクセス手段がいくつもあり、考え方によっては関東や関西よりも交通の便がいかもしれません。佐賀と福岡のど真ん中で、田舎過ぎずとても便利です。
- Q** これからやっていきたいこと
基山の魅力を発見し、地元の方をはじめ近隣の住民の皆さん、そして基山を通る観光客の方が「ちょっと立ち寄りてみようか」と足を運んでくれるような町になったらいいと思います。さまざまな魅力ある情報を発信し、町を盛り上げていきたいです。



「手伝えることはなんでもしています」と話す小野さん。時にはマスクづくりも。



Profile 小野 やよいさん
北海道出身。子育てを終りをきっかけに、憧れの九州へ向け日本南下の旅へ。約2年かけて旅する中、地域おこし協力隊のことを知り、自分にちょうどいいと感じた基山で活動を開始。



エミューに餌をあげる小野さん。基山の魅力を深く知るためさまざまなことに挑戦する。

基山の魅力を守っていききたい。

- Q** どんな活動をされていますか？
産業振興課でイベントの企画・運営をはじめ、商店街や市街地の活性化のために活動しています。はしご酒イベント「きやま Kappo(かっぽ)」では「健康」をテーマに「体と心を整える」ワークショップを実施しました。また、基山の特産物の商品販路をもっと広げていきたいです。
- Q** この町の魅力や好きなどを教えてください
「ちょうどいい」ところです。交通の利便性がありながら自然豊か。人との距離感もちょうどよく、皆さん親切に接して下さり、自然と親しくなることができました。食事をごちそうになることも多く、温かいと感じます。
- Q** これからやっていきたいこと
着任してから、基山町のことを知れば知るほど、里山の風景や、美しい基山、棚田など「今あるものを守らなければいけない」と思うようになりました。農村の維持活性化や耕作放棄地の活用などもそうです。害獣であるイノシシのジビエ活用を視野に狩猟免許も取得しました。地域の困っていることを拾って歩き、私たちのような外からやってきたものと、もともとある魅力を掛け合わせた「おもしろいコミュニティづくり」をしていきたいです。